

幹にふれたる更生策を樹立せずして、常にこれ等の赤字対策は従来自の貸銀が対象として行はれ一切の負担を従業員にのみ轉化せんとする方策以外の何物でもなかつたのだ。
我等はこの不合理極まる當局の當番手段を徹底的に暴露し以つて生活権確保の爲めの闘争に邁進しなければならぬ。

(二) 貸銀二割減並に整理案に對する態度

市電更生の美名にかくれて打下されたる大暴壓案に對抗して勃發した今回の大罷業は、全従業員の再度に亘る決死的罷業にも拘らず、其の終末に於て強制調停委員會の調停案と同様、貸銀二割減と更改給に對しては希望者のみに依る選擇自由との條件で一時的解決のやむなきに至つたのである。
更改給と二割減との經濟的利害を比較するならば何れの觀點からするも、はるかに二割減の方が有利であるにも拘らず、二割減の重壓に對する不満と、併せて山下局長不信認から來たれる東京市電に對する將來への不安から更改給希望者が八割九分を占むるに至つたのである。

この更改給實施後に於て、更改給採用者の苦痛は論ずる迄もなく、二割減適業者の苦痛も忍び得ないものがある。

斯る観点から此のまゝの状態では漸じて生活の安定は保持し得ない。従つて之れに對しては合理的なる貸銀の引上要求の爲めに徹底的な闘争を展開しなければならぬ。

併し乍ら山下局長の發表せる整理案の根本骨子たる退職一時金並に整理手當一千八百萬圓の起債も、今日に於ては認可

不認可が未決定の状態にある。

萬一この一千八百萬圓の起債が不認可の場合に於ては、今回の問題の一切が當局の整理案發表に起因するものである以上、今回の争議に關聯する一切の問題の解消を要求しなければならぬ。即ち「貸銀は九月二日以前に立還る事」「敵首者の即時取消」「争議中の日給全額支給」「争議費用の辨償」「家族見舞金の要求」等々之等の條件獲得のための強力なる闘争を開始しなければならぬ。

(三) 市電財政の根本的更生

東京市電氣局が日本資本主義の一環である限り、其の經營經濟機構が資本主義的であり、金融資本家擁護の立場を取れる事も又當然の現象であるが、今日の市電財政がそれに依つてのみ破綻を來たして居るとは考へられない。そこには何人が常識的に考察しても、經營出來得ざる幾多の重大なる原因がある。

市電財政の立直しは根本原因の整理と禍根の除去なくしては断じてなし得ないものである。

我等は此の根本的原因を究明し更に其の禍根の除去に向つて積極的運動を開始しなければならぬ。

今其の原因の主なるものを指摘して見る。

(イ) 二億三千數百萬圓の内外債に對する利拂年額一千四百數十萬圓

二億三千數百萬圓の公債は私營鐵道買收當時に於ける不當

現在の公債利子の一部は四分三厘に借替へられたが、其の大部分は五分五厘乃至六分である。此れに對しては、三分程度の低利債への借替をなす可く運動を展開しなければならぬ

(ホ) 省電の壓迫に依る損害補償要求

近年省電二ヶ所の連絡に依つて市電の減收は年額四百五十萬圓の多額に昇つて居る。此の問題に對してはしばしば「叫んだ所であるが、何んとしても之れは國家に補償せしめなければならぬ。即ち私鐵補償條例にのつとつて此の損害賠償をせしむ可きである。

以上の他に爲替差損金の國庫保證、高給吏員の整理に依る經營費の節減、道路使用料の徵集等々幾多の整理更正す可き問題が残されて居るが、之等以上の問題に對しては積極的運動によつて其の實現を期さなければならぬ。

(四) 市電更生委員會に對する積極的活動

斯の如き市電財政の行詰りをなす幾多の問題に對して、當局理事者は形式的には運動をなせるも單に申請的なものであつて何等の積極性をもたない。

吾等はこの市電財政破綻の根幹をなすものである限りに於て率先して運動を興さなければならぬ。從來表面を糊塗瀟灑し來つた財政の内容が今回の大争議を通じて市財並に電氣局財政の糸絛が曝露され、殊に市電財政破綻の依つて來たる原因が社會に認識された事は調停案の内容に財政の根本的

見積價格と尤大なる權利金支拂等に發し、逐年理事者の放漫政策に依る無放棄なる公債の濫發、震災復興債等が其の重なるものである。
従つて其の大半は何等生産價なき空資本であつて、これが今日の市電經營上に於ける大きな痛である。市電經營が自給自足の立前に立つ限り此の不生産資本の膨大なる利拂が如何に不合理であるかは論ずる迄もない。

この公債に對しては其の大部分を速に本市に移譲し、適當なる新税を設けて處理せしめなければならぬ。

(ロ) 交通統制の實現

東京市の交通統制は文字通り亂脈に流れてゐる。

今や國家資本國鐵の壓迫と資本主義的自由競争から來る、圓タク、バス、私鐵等に狹撃され市電の乗客収入は減收の一踏を辿りつゝある。

路面電車の行詰り打開の爲めにも合理的な交通統制を計り各種交通機關の經營的合理化を計らなければならぬ。

(ハ) 電力自給による徹底的節減

市電の電力は日電鬼怒電等から購入してゐるが其の購入價格は一キロワット時につき、二錢五毛であつて他の電力使用會社の購入價格と比較して餘りにも高價である。これが現在富山市に於ける市場買價價格六厘に換算するときは實に年額五百萬圓の節約をなし得るのである。速かに電力自給に依り電力料金の節減をなす可きである。

(ニ) 高利債を低利債への借替へ